

隣国ウガンダのキャンプで祈禱する瘡痕文身(スカリフィケーション)を施した南スーダンからの難民  
バグリニヤ難民キャンプ、ウガンダ、2016年8月29日

今、  
世界で  
起きて  
いること



それでも一瞬一瞬を  
懸命に生きている姿があつた

Places and People Afar, Close to Home and Heart

# 大瀬二郎 報道写真展

遙かなる地へ思いを馳せて

紛争、暴力、  
自然の脅威——  
かつての「恵みの大地」は  
様相を変え、人々は追われる

2016  
12.5月 -  
2017  
1.20金

10:00-17:00

【休場日】  
土日祝日および  
12月29日(木) - 1月3日(火)

東京外国語大学  
アジア・アフリカ言語文化研究所  
1階資料展示室  
東京都府中市朝日町 3-11-1

入場無料

【主催】  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
基幹研究「アジア・アフリカにおけるハザードに対する  
『在来知』の可能性の探求—  
人類学におけるミクロ-マクロ系の連関2」





「混迷の大統領選挙」  
カンバラ、ウガンダ、2016年2月15日



「ローマ法王に祝福を受けたカトリック神父」  
カンバラ、ウガンダ、2015年11月29日

野党派の大統領候補者キザ・ベンジエの演説会で、機動隊によって発射された催涙弾から逃げ去る大学生達。演説前にベンジエは警察に逮捕され、集会がデモにエスカレート。1人が射殺された。

ローマ法王に祝福を受けたカトリック神父。ウガンダの大半は信心深く、世界のなかでも厳しい反同性愛の法律がある。現ローマ法王は、前任者と比較して、同性愛者を含む現代的な課題に進歩的な態度を主張し、同性愛者に対する寛大なコメントが訪問中に期待されていた。

## 概要

紛争や迫害を恐れ、家を追われた人の数が過去最多となった。国連の難民機関 UNHCR によると 2015 年末時点で移動を強いられた人の数は 6530 万人で、前年より 580 万人急増。紛争や迫害によって一日あたり平均 3 万 4000 人（毎分 24 人に相当）が国内外で保護を求め、避難を余儀なくされた。

グローバル化が急速に進み既に定着し始めた今、紛争地から掘り出される希少金属や宝石、石油や熱帯堅木などが、携帯電話やファッションアクセサリ、家具や車や火力発電などに使われ、私たちの消費社会の日常生活に入り込み溶け込んでいる。この人道難局の実情は、私達にとって理解し難い遠い国での出来事に過ぎず、私達には直接関係のないものと言いつけることができるのだろうか？

By the end of 2015, the number of individuals who were forcibly displaced worldwide, as a result of persecution, conflict, generalized violence, or human rights violations has reached the record-breaking 65.3 million, increased 5.8 million from the previous year. On average, 34,000 people are being displaced per day (24 people minute).

As the globalization has accelerated and become a norm of the day, rare metal, gems, oil and tropical hardwood melt into our society in the forms of mobile phones, fashion accessories, furniture, automobiles and electricity. Can we simply say that this global humanitarian crisis is the occurrence in far-away places which is difficult to comprehend, and we don't have any involvement?

## 大瀬二郎（おおせ・じろう）

1968 年生まれ。大阪府出身。アメリカ ミズーリ大学ジャーナリズム学部報道写真学科を卒業後、アメリカの新聞社を経て、現在フリーの報道写真家として世界各地で起こる数々の事象にカメラを向け世界中に発信。

07 年コンゴ（旧ザイール）の総選挙の取材で国際報道写真祭（Pictures of the Year International）でニュース部門優秀賞受賞、コンゴでの体験記「アフリカ大戦の亡霊」で、09 年田原総一郎ノンフィクション大賞佳作受賞。Time、Newsweek、Le Monde、週刊朝日、アエラほか多数のメディアに写真が掲載されている。ウガンダ在住。

<http://www.jiroose.com/>

### 【主催・問い合わせ先】

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
基幹研究「アジア・アフリカにおけるハザードに対する『在来知』の可能性の探究—人類学におけるミクロ-マクロ系の連関 2」

tel : 042-330-5600

e-mail : [kikanjinrui@tufs.ac.jp](mailto:kikanjinrui@tufs.ac.jp)

web : <http://www.aa.tufs.ac.jp/kikanjinrui/>

【企画協力】古谷伸子

### 【講演会】参加費無料・事前申込み不要

日時：2016年12月27日（火）16:00 - 19:00

会場：アジア・アフリカ言語文化研究所  
3階マルチメディア会議室（304）

【プログラム】※講演時間は質疑応答を含みます。

16:00 - 17:00

大瀬二郎 報道写真家 ※使用言語：日本語

「Places and People Afar, Close to Home and Heart —遙かなる地へ思いを馳せて」

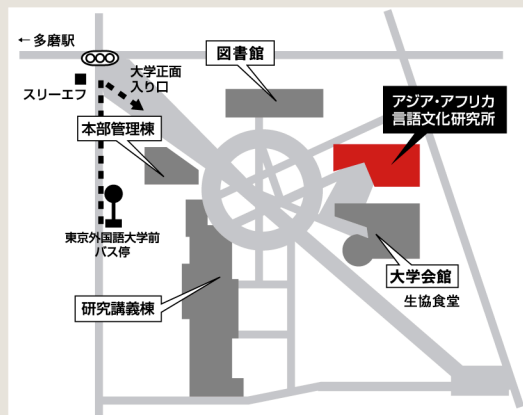
17:00 - 17:15 休憩

17:15 - 18:15

ジュリア・アン・ザイカウスキー 国連難民高等弁務官事務所  
※使用言語：英語

「中央アフリカおよび東アフリカにおける難民の現状」

18:15 - 19:00 総合討論



# 大瀬二郎 報道写真展

【会期】 2016年12月5日（月）～2017年1月20日（金）  
※土・日・祝日、12月29日（木）～1月3日（火）は休場

【入場料】 無料

【時間】 10:00～17:00

【会場】 〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所資料展示室（1階）  
最寄り駅：西武多摩川線多磨駅